

# 第1章 計画策定にあたって

## 1. 計画策定の趣旨

本市の中山間地域等の面積は、582.01km<sup>2</sup>で、市全体の面積の約89%を占めています。この地域は、そこに暮らす人々の生活の場であるとともに、「国土の保全」、「水源のかん養」、「食料の供給」など多面的かつ公益的な機能を有し、私たちの暮らしに多くの恵みをもたらしています。

しかしながら、少子・高齢化や人口減少の急速な進行に伴い、担い手不足等による産業活動の低迷や耕作放棄地の増大、地域のコミュニティ機能の低下などが懸念されており、買い物弱者問題や鳥獣被害問題も深刻です。

このような中山間地域等の抱える問題・課題に適切に対応し、県や国をはじめとする関係機関や住民との連携のもと、中山間地域等の振興に関する施策を総合的かつ横断的に推進することを目的に、この計画を策定します。

## 2. 計画の位置付け

本計画は、「市民の願いがかなう 南九州のリーディングシティ」を都市目標像とする「都城市総合計画」を上位計画とし、まちづくりの基本理念である「市民が主役のまち」、「ゆたかな心が育つまち」、「緑あふれるまち」、「活力あるまち」の考え方を踏まえるとともに、「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」を創り上げるべく、本市の中山間地域等の振興のための施策の方向性を示すものです。

さらに、過疎地域自立促進特別措置法や山村振興法等の考え方や「宮崎県中山間地域振興条例」及び「宮崎県中山間地域振興計画」を踏まえ、県や国などの関係機関と一体となって中山間地域等の振興に取り組みます。

### 都城市総合計画における位置付け

- 都市目標像 「市民の願いがかなう 南九州のリーディングシティ」
- まちづくりの基本理念 「市民が主役のまち」、「ゆたかな心が育つまち」  
「緑あふれるまち」、「活力あるまち」
- まちづくりの基本方針 「きょうどう」のまちづくり
- まちづくりの基本施策 「市民との協働によるまちづくりの推進」
- 施策の方向性  
地域づくりを支援します
- ◆ 中山間地域等の人口減少、高齢化が著しい地域を支援するため、都城市中山間地域振興計画を策定し、中山間地域の活性化のための施策を総合的かつ横断的に推進します。

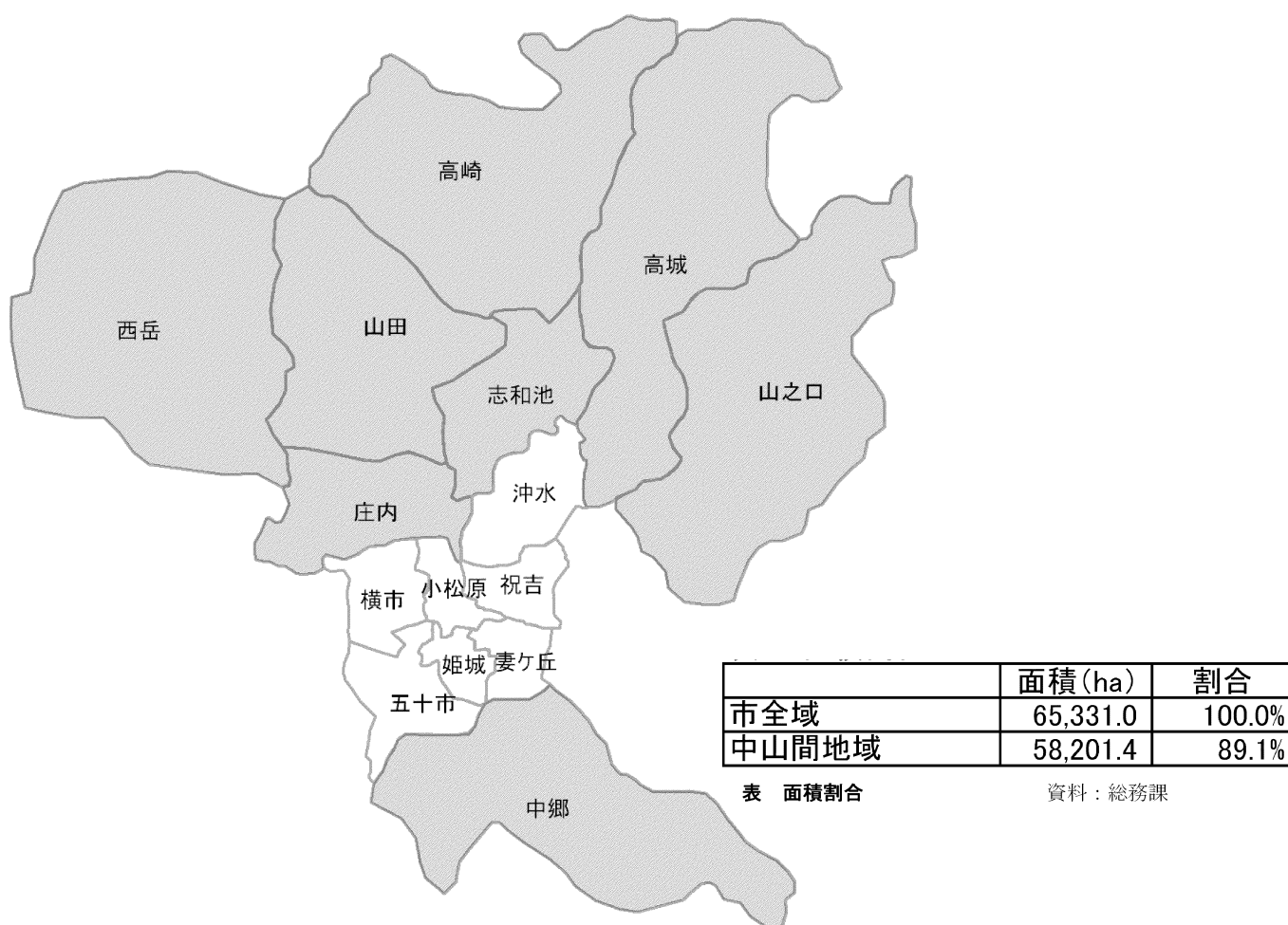
### 3. 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度から平成29年度までとします。

### 4. 計画の対象地域

この計画における「中山間地域等」とは、次の区域とします。

- ① 山村振興法（昭和40年法律第64号）により振興山村と指定された区域  
・・・【山之口地区】
- ② 過疎地域自立促進特別措置法（平成12年法律第15号）により過疎地域として指定された区域  
・・・【高崎地区】
- ③ 宮崎県中山間地域振興条例第2条第1項第6号の区域を定める規則（平成23年規則第4号）に定める区域  
・・・【西岳地区】、【中郷地区】、【高城地区】、【山田地区】
- ④ 平成18年1月1日以後も人口が減少傾向にある地域  
・・・【志和池地区】、【庄内地区】



## 第2章 中山間地域等の現状

中山間地域等は、面積が市全体の約89%、人口が市全体の約37%を占め、生活の場として、また、食料の供給をはじめ、その多面的かつ公益的な機能から見ても、本市にとって重要な地域であります。

しかしながら、人口減少や高齢化の進行が著しいことなどから、生活環境、集落、産業振興、環境・防災面等、様々な分野において、次のような現状や課題を抱えています。

### 1. 生活環境

- ① 高齢化の進行によるひとり暮らし世帯及び要介護認定者が増加する一方、救急医療拠点施設から遠隔地であること等の課題もあり、高齢者福祉や医療の充実が求められています。
- ② 核家族化の進行により、子育ての悩みを相談する機会の減少や子育てを支える環境の低下などの問題が顕在化しており、子育て支援体制の充実が求められています。
- ③ 人口減少等に伴う利用者数の減少によるバス路線の廃止や近隣店舗の閉鎖、移動手段を持たない高齢者の増加等により、交通弱者、買い物弱者といった新たな問題が発生しています。また、中山間地域等は高齢化率が高いことから、高齢者を狙った犯罪等の危険性が心配されています。
- ④ 幅員が狭く、見通しの悪い道路等も見受けられることから、生活道路の整備・維持が必要となっています。また、日常生活に不可欠な安全で良質な水の確保・供給が重要となっています。

|             | 中山間地域等 |       |       |       |       |        |       |        |        | 市全域     |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|
|             | 志和池    | 庄内    | 西岳    | 中郷    | 山之口   | 高城     | 山田    | 高崎     | 小計     |         |
| 総人口         | 7,180  | 8,121 | 2,362 | 9,271 | 6,812 | 11,556 | 8,136 | 10,297 | 63,735 | 172,014 |
| 高齢者人口       | 2,279  | 2,446 | 1,183 | 2,929 | 2,034 | 3,459  | 2,542 | 3,462  | 20,334 | 43,787  |
| 高齢化率        | 31.7%  | 30.1% | 50.1% | 31.6% | 29.9% | 29.9%  | 31.2% | 33.6%  | 31.9%  | 25.5%   |
| 要支援・要介護認定者数 | 452    | 477   | 222   | 610   | 375   | 653    | 533   | 664    | 3,986  | 8,424   |
| 認定率         | 19.8%  | 19.5% | 18.8% | 20.8% | 18.4% | 18.9%  | 21.0% | 19.2%  | 19.6%  | 19.2%   |

表 高齢化率及び要介護認定率（平成23年4月現在）

資料：介護保険課

|     | 1位   | 2位   | 3位   |
|-----|------|------|------|
| 志和池 | 商店閉店 | 交通手段 | 体的問題 |
| 庄内  | 商店閉店 | 体的問題 | 交通手段 |
| 西岳  | 商店閉店 | 交通手段 | 体的問題 |
| 中郷  | 商店閉店 | 体的問題 | 交通手段 |
| 山之口 | 商店閉店 | 体的問題 | 交通手段 |
| 高城  | 商店閉店 | 体的問題 | 交通手段 |
| 山田  | 体的問題 | 商店閉店 | 交通手段 |
| 高崎  | 体的問題 | 商店閉店 | 交通手段 |

表 アンケート調査結果（買い物が不便になった大きな要因）

資料：商業観光課

## 2. 集落

- ① 中山間地域等では、本市全体における人口推移と比較して人口減少の傾向が著しく、また、高齢化の進行も加わり、自治公民館として必要な一定規模の担い手確保が難しい地域もあるなど、集落機能の低下や地域活動の維持が困難になっているケースも見受けられます。
- ② 中山間地域等における小中学校の児童生徒数の減少数は、本市全体の児童生徒数の減少数の半分以上を占めており、地域活力の低下の要因となっています。また、児童生徒数の減少は、地域伝統芸能の後継者不足にも影響しています。

|        | 各年10月1日現在 |         |         |         |         |         | 増減率<br>S60とH22の比 |
|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|------------------|
|        | 昭和60年     | 平成2年    | 平成7年    | 平成12年   | 平成17年   | 平成22年   |                  |
| 都城市全域  | 175,728   | 172,593 | 174,054 | 171,812 | 170,955 | 169,602 | -3.49            |
| 中山間地域等 | 73,523    | 71,271  | 69,860  | 67,720  | 64,991  | 61,438  | -16.44           |
| 志和池地区  | 8,269     | 8,134   | 7,940   | 7,552   | 7,242   | 6,842   | -17.26           |
| 庄内地区   | 8,438     | 8,102   | 8,179   | 8,079   | 8,047   | 7,790   | -7.68            |
| 西岳地区   | 3,787     | 3,392   | 3,093   | 2,799   | 2,582   | 2,337   | -38.29           |
| 中郷地区   | 9,399     | 9,203   | 9,308   | 9,400   | 9,227   | 8,917   | -5.13            |
| 山之口地区  | 7,743     | 7,614   | 7,561   | 7,322   | 6,935   | 6,635   | -14.31           |
| 高城地区   | 13,804    | 13,321  | 12,915  | 12,570  | 11,944  | 11,191  | -18.93           |
| 山田地区   | 8,932     | 8,781   | 8,811   | 8,615   | 8,288   | 7,809   | -12.57           |
| 高崎地区   | 13,151    | 12,724  | 12,053  | 11,383  | 10,726  | 9,917   | -24.59           |

表 国勢調査からみた人口推移（上段）と増減率（下段）

（単位）上段：人 下段：%

資料：情報政策課

単位：人

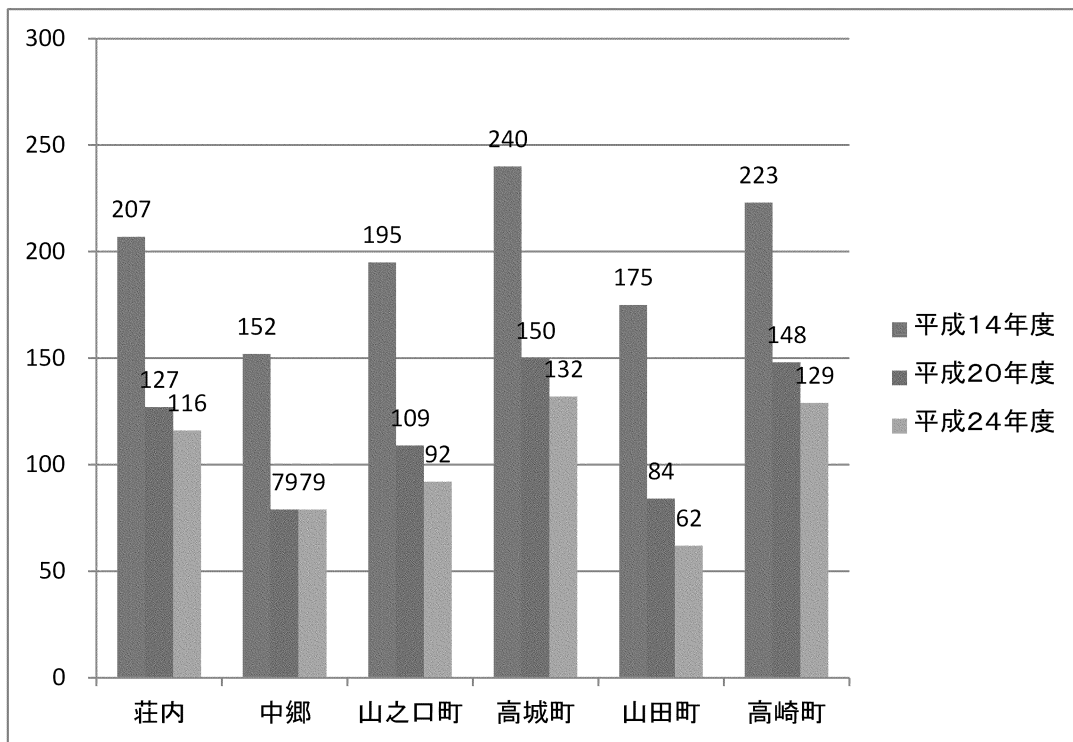
| 区分      | 小学校    |        |       | 中学校    |        |       |      |
|---------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|------|
|         | 平成18年度 | 平成25年度 | 増減    | 平成18年度 | 平成25年度 | 増減    |      |
| 中山間地域等  | 志和池地区  | 363    | 340   | -23    | 217    | 176   | -41  |
|         | 庄内地区   | 491    | 389   | -102   | 275    | 209   | -66  |
|         | 西岳地区   | 78     | 48    | -30    | 53     | 28    | -25  |
|         | 中郷地区   | 524    | 427   | -97    | 307    | 236   | -71  |
|         | 山之口地区  | 384    | 386   | 2      | 232    | 175   | -57  |
|         | 高城地区   | 653    | 575   | -78    | 360    | 295   | -65  |
|         | 山田地区   | 479    | 409   | -70    | 270    | 230   | -40  |
|         | 高崎地区   | 583    | 400   | -183   | 330    | 251   | -79  |
|         | 小計     | 3,555  | 2,974 | -581   | 2,044  | 1,600 | -444 |
| 中山間地域以外 | 6,643  | 6,478  | -165  | 3,447  | 3,083  | -364  |      |
| 都城市合計   | 10,198 | 9,452  | -746  | 5,491  | 4,683  | -808  |      |

表 各地区における小中学校の児童生徒数

資料：学校教育課

### 3. 産業振興

- ① 農畜産業においても、少子高齢化や人口減少に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加等により、その経営環境は厳しい状況にあります。
- ② 商工業においても、中山間地域等の特に山間部では小規模経営の事業者が多いことから、大規模小売店舗の開設、消費者ニーズの多様化及び景気情勢の悪化により、経営状況は不安定で、雇用の拡大は難しい状況にあります。
- ③ 霧島ジオパークをはじめとする豊かな自然やスポーツ施設及び温泉施設といった観光資源、さらには様々な歴史資源を有しながらも、その魅力を高め、観光振興に活かす取組が十分とは言えない状況です。



グラフ 商工会別の商工業者数（小売業・飲食業、サービス業）の推移

資料：商工会実態調査

## 4. 環境保全・防災対策

- ① イノシシ、シカ、サル等の有害鳥獣による農作物等への被害が拡大しており、さらに近年では、民家や畜舎付近にも出没するなど、生活環境への影響も懸念されています。

|      | 被害面積(a) | 被害金額(千円) |
|------|---------|----------|
| イノシシ | 10,488  | 7,463    |
| シカ   | 11,880  | 5,315    |
| サル   | 3,650   | 2,315    |
| その他  | 1,470   | 1,125    |
| 市全体  | 27,488  | 16,218   |

表 鳥獣被害の状況

資料：農産園芸課

- ② 林業においても、後継者不足や高齢化が深刻な状況にあり、また、林業経営の採算性の悪化による所有者の活動意欲の減退が見受けられます。これらの状況により、林業の生産活動が停滞しており、環境の保全や防災といった森林が持つ多面的機能の維持が難しい状況となることが懸念されています。
- ③ 台風や局地的な集中豪雨による土砂災害の発生や大淀川流域の低地における内水被害が懸念されることから、情報収集・伝達方法の体制強化や避難体制の充実等が求められています。また、口蹄疫や鳥インフルエンザなどのほか、近年は新燃岳噴火といった過去に経験のない不測の事態も発生していることから、新たな危機に対処するための危機管理体制の強化も課題となっています。